



# 経営サポートNEWS

◆補助金特別号◆

〒238-0004 横須賀市小川町7番地 かながわ信用金庫 経営サポート部

## 私はこうして補助金採択されました。

国や地方公共団体が公募している補助金や助成金は、お客さまの事業の発展に有効にご活用いただける可能性があります。しかし、補助金・助成金の種類は数多く、金額も制度によってさまざまです。

かながわ信用金庫では補助金等の申請を目指すお客さまに、申請に必要な計画書や申請書類の作成にかかるアドバイス、相談等を行っています。

今回は、そんな当金庫のサポートを受けて、見事採択された事業者の皆さまにお話を伺いました。

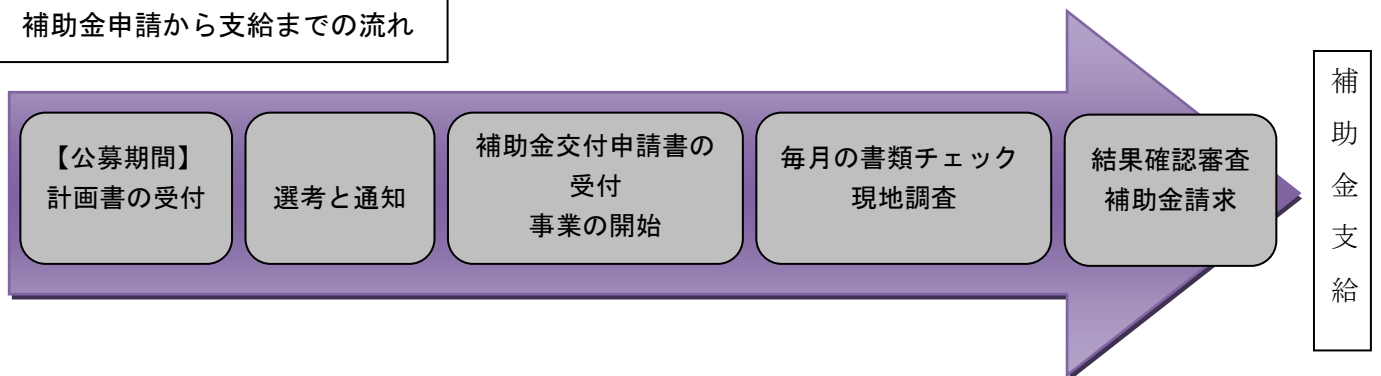
### そもそも…補助金申請ってなあに？

補助金と一口にいても、交付主体は国、都道府県、市区町村等さまざまな種類があります。国の制度として中小企業、個人事業主が対象の補助金としては、主に

- ・小規模事業者持続化補助金
- ・エネルギー使用合理化等事業者支援補助金
- ・ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金
- ・創業・第二創業促進補助金

などが挙げられます。いずれも補助事業として採択され、且つ交付決定後に支払った経費について、後から補助金が支給される仕組みです。また、補助上限額、補助率、補助対象となる費目・用途等が細かく決められています。

#### 補助金申請から支給までの流れ



#### ものづくり補助金の採択率の推移

	応募者数	採択者数	採択率
平成24年度補正	23,971件	10,516件	43.8%
平成25年度補正	36,917件	14,413件	39.0%
平成26年度補正	30,478件	13,134件	43.0%
合計	91,366件	38,063件	41.6%

(中小企業庁ホームページより抜粋)

※紹介した補助金は前年度または本年度事前予告に基づく概要であり、実際に公募される内容と異なる場合があります。詳細は公募要領(中小企業庁ホームページ等)をご覧ください。

# 横須賀野菜をつかった、ちょっと幸せになれるパンを・・・

有限会社モリ・ワールド さま

## 経営サポートを受ける中で補助金の存在を知り挑戦

有限会社モリ・ワールドは、創業 90 年を超える横須賀のパン屋。そんな老舗のパン屋と当金庫「経営サポート」とのお付き合いが始まったのは今から約 1 年半前のこと。以来、専務取締役である森証人さんは、抜本的に店舗の在り方を変えることを考えていました。

もともと三浦半島で地域密着型の事業を展開する経営者仲間が多く、自身もそんな仲間を見て刺激を受けていた森さん。自分も三浦半島らしい店舗や商品を作りたい、そんな思いがどんどん強まっていきました。

そんなとき、経営サポート部の担当者や中小企業診断士から小規模事業者持続化補助金の存在を知った森さん。自らの想いを実現すべく、さっそく店舗リニューアルに向けて小規模事業者持続化補助金の申請に挑戦しました。

申請時に苦労したのは「自分の想いを言葉に置き換えて文章にする」ということ。想いは強くても、申請書を読んだ人に伝わらなくては意味がありません。経営サポート部の担当者や中小企業診断士から個別フォローとして様々な質問を受け、対話を重ねるうちに、伝えたいことを文章としてまとめることができ、採択が決まりました。



(左より) 小森俊幸シェフ、森証人専務取締役

## 地元野菜の旬の美味しさを一層引き立てるパン作り

補助金を活用して、さっそく店舗リニューアルを実施。什器の購入や内外装の改装、さらに新しいホームページも作成し、平成 28 年 1 月 15 日、ついに京急県立大学駅そばに「soil」がオープンしました。



「soil」がこだわったのは、地元横須賀の「旬の野菜」と「野菜に合った手作りの生地から作ったパン」。

「soil」には、通常のパン屋では見かけないような、野菜がゴロリと乗ったパンが所狭しと並べられています。これらは横須賀産を中心とした新鮮且つ旬な野菜が使われていて、早いものでは収穫から 24 時間以内に店頭で並べられるものもあるのだとか。「1 年中スーパーで売られている野菜もたくさんありますが、旬の時期に食べるのが一番美味しい」という森さん。「旬の美味しさを引き立たせるようなパン、四季を感じられるパンを多くの皆さまに召し上がっていただくことでパンの声や生産者の想いを伝えたい」と今後の意気込みを話してくださいました。



有限会社 モリ・ワールド  
【soil by HOUTOU BAKERY】  
〒238-0012 神奈川県横須賀市安浦町 2-29-1  
☎046-874-6622

## ◆小規模事業者持続化補助金について◆

小規模事業者が、販路開拓等に取り組む経費の一部を補助金として受けることができます。補助上限額は 50 万円、補助率 2/3、補助対象となる費目・用途等が決まっています。(補助上限額 100 万円、500 万円のものもある)

◎取組例：①広告宣伝 ②集客力を高めるための店舗改装 ③商品パッケージや包装紙・ラッピングの変更等

# 食材を活かして三浦半島を元気に！

有限会社たのし屋本舗 さま

## 三浦半島には素材を活かす第1次加工場がない

横浜駅西口から歩いて5分ほどの場所にある黄色いビル。その2階にあるのは、三浦半島の食材や未利用魚・未利用野菜を製品として加工・活用するための大きな機械が並んだ第1次加工場と生産研究施設を兼ねた、その名も「Co-Lab (コラボ)」。同業者・生産者向けの加工場としても無料で開放されており、同時にコミュニケーションの場としても活発に利用されています。

平成26年11月にもものづくり補助金を活用してこの第1次加工場をオープンさせたのが、有限会社たのし屋本舗代表取締役の下澤敏也さん。

下澤さんは「食材を通して三浦半島を元気にすること」をテーマに経営をされており、三浦半島の食材に特化した飲食店を5店舗と、三浦半島の地魚を扱う水産物卸売業を営んでいました。その一方で、三浦半島内の恵まれた素材を活かした、活発な製品の開発・商品化を行うための第1次加工場が辺りを見回しても全くなく、その必要性をひしひしと感じていました。ただ、必要性を感じても自分が行うには実現の見込が立たないのは明白でした。

そんなとき、横須賀商工会議所の担当者からものづくり補助金の話聞き、ビジネス上の不安な部分を解消できるのではないかと背中を押され、補助金採択に向けて申請することにしました。



下澤敏也代表取締役

## ものづくり補助金で想いを叶える挑戦ができた

申請書類には綿密な事業計画が要求されますが、下澤さんは「申請書類の作成段階での苦労はなかった」と言います。それは、下澤さんが構想をある程度練っていたことに加え、横須賀商工会議所や商工会議所から紹介された当金庫経営サポート部の担当者による手厚いサポートがあったからだと言います。また、「担当者との度重なる話し合いで計画の再確認ができた」と当時を振り返ります。



「ものづくり補助金のおかげで「Co-Lab (コラボ)」ができ、自分の想いを叶えるための挑戦が早い段階でできた」と話す下澤さん。「国から支援を頂いているので、大切に使うのはもちろん、この事業に出し惜しみせず全力で真剣に取り組もう」と決意を新たにしていました。

有限会社 たのし屋本舗  
〒237-0064 神奈川県横須賀市追浜町 3-38  
☎046-865-6641

## ◆ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金について◆

国内外のニーズに対応したサービスやものづくりの新事業を創出するため、革新的なサービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行う中小企業の設備投資等が対象となります。

【革新的サービス・ものづくり開発支援】	一般型：補助上限額 1,000 万円・補助率 2/3 以内	小規模型：補助上限額 500 万円・補助率 2/3 以内
【サービス・ものづくり高度生産性向上支援】	補助上限額 3,000 万円・補助率 2/3 以内	



# 笑美（えみ）プラスで、美しい笑顔のお手伝い

よもぎ蒸し専門店 Emi plus（エミプラス） さま

## 創業補助金は「ただもらえるもの」ではない

「創業補助金はただもらえるものではありません。採択されてからもどういった手続きがあるのかという流れを知ったうえで取り組まれた方が良いでしょう。」

と話すのは、藤沢市内で平成 27 年 4 月に女性向けのよもぎ蒸し専門店 Emi plus（エミプラス）を開業した代表の田口ちさとさん。

創業補助金は、採択後も書類提出や担当官との複数回にわたる面談などいくつもの手続きがあります。また、補助対象範囲も制限が多いことから、田口さんは採択を受けたものの実際の給付は諦めようかと考えたこともあったそうです。しかし、創業補助金申請までの限られた時間の中で、周りの人に支えられながら、苦勞して申請書類を完成させた経験を踏んだおかげで、採択後の手続きもなんとか乗りきることができたそうです。



田口ちさと代表



## 一人で抱え込まないことも大事

田口さんが創業補助金を知ったのは、今からさかのぼること約 1 年前。起業準備真っ最中でした。知人から紹介されたものによく分からず、地元藤沢の商工会議所に問い合わせたところ、創業者向けの藤沢商工会議所主催「湘南創業塾」への参加を案内されました。早速参加を決め、事業計画作成の実務について学び始めました。また、創業補助金の公募期間中ということもあり、こちらにも挑戦。

開店を間近に控え、全てが同時進行というハードスケジュールをこなしていきました。

慣れない言葉や言い回しに、申請書の作成には苦勞したとのことですが、湘南創業塾の講師陣や講師を務めていた当金庫の担当者、そして自身の二人の協力者にも助けられ、無事に申請書類を仕上げることができました。そんな経験を踏まえ、田口さんは創業補助金申請も「一人で抱え込まないことも大事」と話します。

店名の Emi plus（エミプラス）には、「笑美（えみ）プラス＝美しい笑顔のお手伝い」を広げていきたい、という想いが込められているそうです。一人でも多くの女性が笑顔で元気になるため、「たとえ時間がかかったとしても、焦らずしっかりと一歩ずつ進んでいくこと」が田口さんの当面の目標だそうです。

よもぎ蒸し専門店 Emi plus（エミプラス）  
〒251-0055 神奈川県藤沢市南藤沢 17-1  
アプリオリ湘南 501  
☎0466-41-9221

## ◆創業・第二創業促進補助金について◆

新たに創業する者や第二創業を行う者に対し、その創業にかかった経費の一部が助成されます。

既存技術の転用、隠れた価値の発掘を行う新たなビジネスモデルにより、需要や雇用を創出する事業や、金融機関からの外部資金による調達が十分見込める事業であることなど細かな条件が求められます。

創業：補助上限額 200 万円・補助率 2/3

第二創業：補助上限額 1,000 万円・補助率 2/3